

日時	2025年 2月 1日 (土) 9:45 ~ 10:30 天候：晴のち曇
場所	なにわ ECO スクエア 1 階研修スペース、自然体験観察園・野草広場
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト
参加者	14名(うち子ども 名) 構成:一般参加 0名、エコボラ 14名、事務局 名
講師名	(エコボラの場合氏名に * 印をつける)
内容	野草広場再生のための維持管理、草刈り、杭・ロープの補修、生き物調査
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) 草刈り管理図 (事前レク) 鎌、鋤、ハサミ、かけや、杭、ロープ、熊手、手箕、一輪車
振り返り エコボラ通信に 掲載することが あります。	<ul style="list-style-type: none"> ・チガヤ、ススキなどのイネ科は残してあるが、他は落ち葉かきなどして、下草の緑が出てくる程度に整理した ・実生樹木苗の抜根作業を重点的に行った ・実生アキニレの抜根とともに、クマゼミの終齢幼虫が見つかり、卵を産み付けられた探検路杭か、落枝などから孵化して、野草広場内の実生樹木の根で育ったものと思われる、発見後は雑木林に返した ・紫外線強度計 (YK-37UVSD) による UVA 強度を計測した 10:00~10:25 野草広場入口・日陰 平均 2.7mW/cm² 10:25~11:05 野草広場内南・日向 平均 4.0mW/cm² 11:05~11:20 実生林内・半日陰 平均 2.5mW/cm² 草丈や日照による植生の変化の参考になるならば、今後各所で計測してみたい
次回案内 毎月第1土 曜 9:45 集合	30分程度、野草広場内の探検路に沿って、草丈の管理をします。その後、選択的に取り除く草の刈りこみや、実生の樹木苗の抜根、探検路ロープや杭の補修、野草の名札付けなどを行います。その後各エリアでの作業に分かれ、11:30のエコボラ会議にて、作業内容の報告と打合せをすることがあります。軍手をご持参ください。必要人員 7~8名程度。必要人員 10名程度

スタッフ氏名	活動内容	スタッフ氏名	活動内容
中島一彦	実生樹木苗の抜根、杭補修	柘元慶子	実生樹木苗の抜根、落ち葉かき
小川咲恵	実生樹木苗の抜根	中谷憲一	昆虫調査
井上壽子	実生樹木苗の抜根	岩永圭司	植物調査
黒野治美	落ち葉かき	林耕太	植物・野鳥調査
渡辺喜代子	落ち葉かき	西田敏子	植物調査
田中伸二	実生樹木苗の抜根	北川ちえこ	植物調査、実生樹木苗の抜根
木山正隆	杭補修		
鈴川博司	実生樹木苗の抜根		

いずれかに○→ (○) 裏面に図面、写真等を添付した () 裏面なし () 詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2025年 2月 1日 (土)	記録者	柘元慶子
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		



作業前：枯れ草のないところは緑色に



作業前：人々の姿が見える程度の草丈



実生樹木の根は深く横にも広がっている



クマゼミの終齢幼虫もアキニレの根とともに掘り出された



作業後：落ち葉を取り除き下草の緑が現れた



竹柵により外周法面からの侵入を防ぐ：右は畑

日時	2025年2月1日(土)	記録者	北川ちえこ・中谷憲一 岩永圭司・西田敏子・林耕太
講座・活動名	野草広場再生プロジェクト		

野草広場

実生樹木の根掘りをしたが、枯れ草に混じって見つけにくかった。掘った根のところでクマゼミの幼虫を見つけた。

草本：28種

アメリカフウロ 1、アレチギシギシ 1、アレチヌスビトハギ 3、エゾノギシギシ 1、オオイヌノフグリ 1、オヤブジラミ 1、コハコベ 1、スイバ 1、ススキ 1 立枯、セイタカアワダチソウ 1、セリ 1、タンポポ属の一種 1、チガヤ 1、ノビル 1、ハルジオン 1、ヒガンバナ 1、ヒナタイノヅチ 1、ヒメオドリコソウ 1、ヒメジョオン 1、フラスバソウ 1、ヘビイチゴ 1、ホトケノザ 1、ミドリハコベ 1、ムラサキカタバミ 1、ヤエムグラ 1、ヤハズエンドウ 1、ヨメナ 1、ヨモギ 1

木本：4種

アラカシ 4、エノキ 4、トウネズミモチ 4、ネムノキ ●0 落葉

動物：5種

ウスカワマイマイ 4、クマゼミ 2、コサギ(上空)、ヒヨドリ 4、ムクドリ 0 声

